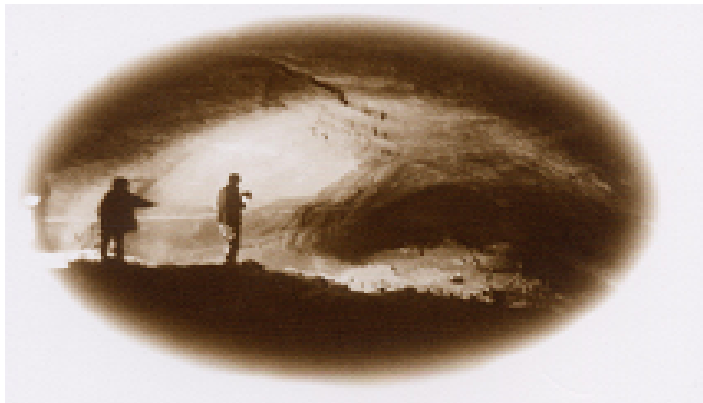


2009「在日朝鮮人歴史・人権週間」 東日本集会(横須賀)



7月3日～26日は在日朝鮮人歴史・人権週間です。国連D・ディエン特別報告者はコリアン等に対する「差別の歴史的・文化的

根深さが日本では認識されていない」(国連総会提出文書)との指摘に基づく戦後初の人権運動です。集会では強制連行の被害者と遺族の証言、シンポジウム、写真・パネル展、強制連行跡地のフィールドワークなどをおこないます。

【歴史人権週間の主な主催団体】フォーラム平和・人権・環境、朝鮮人強制連行真相調査団、在日朝鮮人人権セミナー、在日朝鮮人人権協会

【賛同団体】自治労・部落解放同盟・I女性会議・曹洞宗・朝鮮女性と連帯する日本婦人連絡会、神奈川平和運動センター等

集会プログラム

【第1日目】7月18日(土) 13時開会

ヴェルクよこすか T: 046-822-0202

【第一部】 資料代500円

報告「在日朝鮮人の置かれている立場」
シンポジウム「大審院判例・強制連行」とは

写真ストーリー - 放映「李用鎮氏の生涯」

東日本各県よりの調査報告

16時20分 アピール閉会

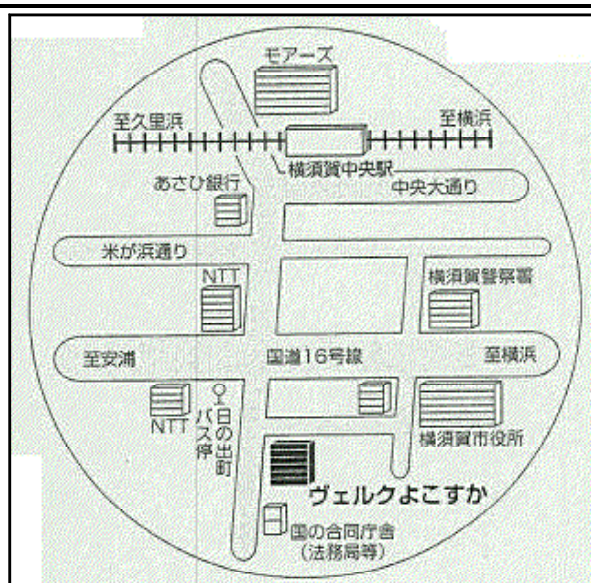
【第二部】 懇親会 16時30～18時

参加費 1000円

【第2日目】 7月19日(日) 日本最大の地下壕フィールドワーク

京急横須賀中央駅 午前8時40分集合 参加費200円、

懐中電灯持参 正午 終了



連絡先：神奈川朝鮮人強制連行真相調査団(日本人側事務局046-824-2442)